

## 2018 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 12 月 20 日作成)

小委員会名	期限付き建築物設計法小委員会		主 査 名：辻 聖晃 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (仮設構造運営委員会)		委員長名：塩原 等 主 査 名：佐藤秀人
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>設置目的：期限付き建築物の具現化に向けて、前身の小委員会での検討重点テーマ（適用設計ルートを分ける建物規模・設計荷重再現期間の決定係数・相応しい仕様規定）を踏まえ、設計法をより充実させ、既刊の「期限付建築物設計指針（2013）」の改定版を作成することを目的とする。</p> <p>初年度：2016年度大会大会で実施したPDを踏まえた検討等を行う。 2 年度：期限付き建築物の具現化に向け検討を深め、改定内容を具体化する。 3 年度：「期限付き建築物設計指針（2013）」の改定を前に、PDを開催する。 4 年度：充実した設計法を示した改定版を脱稿する。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：辻聖晃（京都大学） 幹事：木村麗（建材試験センター） 委員：岩崎敏之（静岡文化芸術大学）、軽部正彦（森林総合研究所）、萱嶋誠（大成建設）、木村衛（エイ構造研）、近藤吉治（構造計画研究所）、坂井正美（アップコン）、佐々木健友（太陽工業）、新藤健太（森林総合研究所）、永野康行（兵庫県立大学）、林篤（東日本旅客鉄道）、森保宏（名古屋大学）、2018.8まで柳澤孝次（やなぎさわ伝統建築研究室）		
設置 WG (WG 名：目的)			
2018年度予算	340,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	9 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 既刊指針の改定内容を意識しながら、2019年度大会のPD実施に向け、テーマ別協議に力を入れ実施し、概ね達成した。 2. 2018年度大会において鋼構造運営委員会（鋼構造環境小委員会）によるPD「東京五輪を契機に鋼構造環境配慮設計をどのように次世代に引き継ぐか」において、期限付き建築物について情報提供するなど、他の小委員会とも情報を共有しながら実施できた。
委員会活動の問題点・課題	